



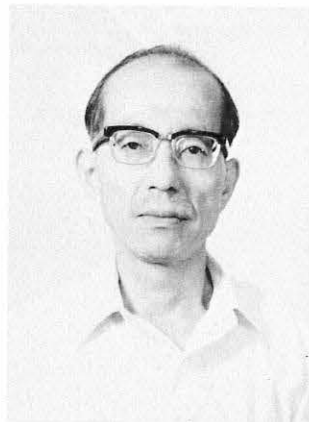
# なきごえ



1987

8

大阪市  
天王寺動物園協会



西川 芳太郎

昭和25年4月、失業中の私に天王寺動物園に勤めるという話が持ちこまれた。動物好きの私にとってこれは願ってもない話だ。早速お世話くださるといふ人の宅を訪れた。

「近日天王寺動物園へゾウが来るので、その歓迎のバッヂを売るアルバイトです。その収益金はゾウの飼料代に充てられることになっています。」ということであった。実はこの人がバッヂの納入者だったのである。少々ガックリとききたが、毎日動物園へ無料で入れて動物を見て廻ることができる(と思った)のがうれしくて、雇い主の大阪市観光協会で正式に契約をしたのであった。

4月某日、私は同アルバイトの学生2人と、バッヂを入れて肩から紐で吊るして腹の前へ水平に保てるように作ったダンボール箱を拘えて、大阪港天保山栈橋へゾウを迎えに行った。予想に反して毛のいっばいに生えた仔ゾウであったが、係員や警備員に囲まれて無事上陸した。折りから絶好の晴天のもと、港から市電通りの両側はたいへんな人出で、戦時中すべて処分されてしまった猛獣類のトップをきって、戦後はじめてやってきたゾウを歓迎するために(珍らしさの方が勝っていたに違いないが)何重もの長い人垣ができていたが、ゾウはその中を約1

km、とことこと歩いてお目見えした。ゾウが前へ来るとそのへんの人垣から驚きや歓びのざわめきが起こり、子供達はその前を走り廻るのであった。

道の中央を歩くゾウとほぼ並んで歩道を歩きながら、私はそのさわぎに負けないように大声をはりあげた。「ゾウさん歓迎のバッヂを買ってください。このお金でゾウさんのごちそうを買います。バッヂはいかがですか。」

バッヂは象が玉乗りをしているデザインの3cmぐらいの七宝焼きのが30円、横姿を薄い鉄板で打ち抜いて金色と銀色とにメッキしたのがそれぞれ5円であったが、ここではよく売れたとは言えなかった。何しろ道の両側は焼野原で、所々にトタン囲いのバラックが並んでいる、復興初期の時代だったのである。

その翌日から私は、新築(?)された象舎の前に、大きな立看板と長机といすをしつらえたテントに出勤して、日に2~3回定刻に運動広場に出されるゾウを見ようと、その時間帯だけどっと集まる人ばかりに向って、「バッヂはいかがですか。」と声をからして呼びかけたのである。売上げにノルマがあったわけではないが、ゾウの飼料のために(!)1個でも多く売ろうとけんめいの努力であった。それで人の少ない時間帯でも、ちょっとさぼって園内観察というわけにはとうとういかずに終わってしまった。

このアルバイトはやりかたをかえて6月半ばまでつづいたが、こんな苦勞がゾウのためにどれほど役に立っただろうか私にはわからない。10年ほどのち、子供をつれて入園料を払って(!)会いに行ったら、ずいぶん立派になっていた。

(昆虫研究家)

なきごえ8月号もくじ

動物と私 ..... 2  
“オランウータンの赤ちゃん、誕生” ..... 3  
動物園グラフ・動物園日記 ..... 4・5  
シベリアからマンモスがやってくる ..... 6・7  
インド紀行 ..... 8・9  
動物なんでも相談室 ⑰ ..... 10  
動物園ニュース ..... 11

表紙の写真説明

“ルリコノハドリ”(Irena puella)

今月はルリコノハドリのオスを撮ってみました。美しいルリ色が印象的ですが、メスは全身地味な青色でオスとは対象的な色相です。東南アジアの樹林に生息し、果実を食べて暮らしています。(撮影：長瀬 健二郎)



“オランウータンの赤ちゃん、誕生”

6月18日、オランウータンのサツキ(17才)がメスの赤ちゃんを生みました。サツキは昨年4月にも出産しており2年連続のおめでたです。去年はミルクが出なかったため人工哺育しましたが、今年はお産後60時間目で授乳が確認されました。

(撮影：宮下 実。生後7日目)

# 動物園グラフ

## “今年生まれた鳥の赤ちゃんたち”

今年も春から沢山の鳥の赤ちゃんが生まれています。そのうちのいくつかを紹介しましょう。

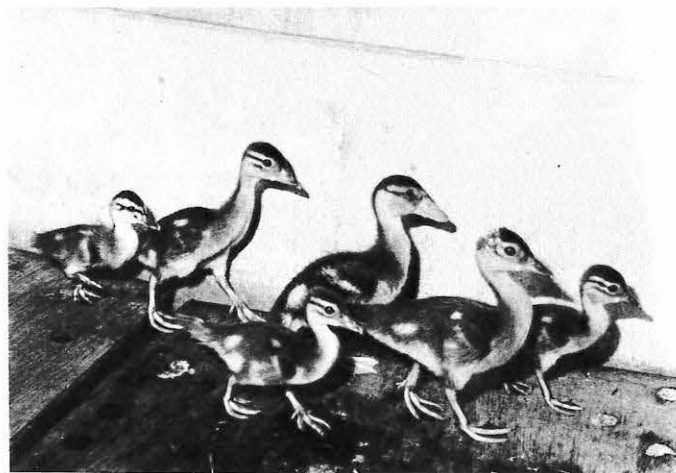
(撮影：大野 尊信)



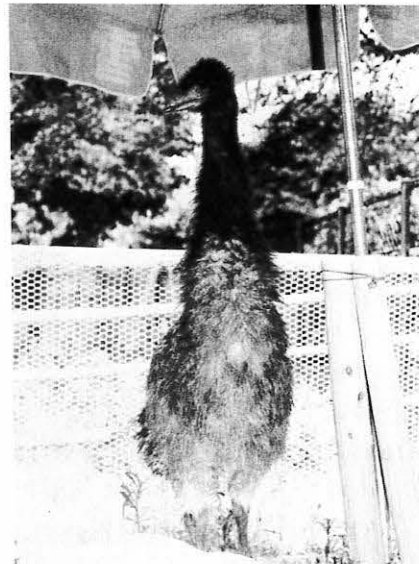
キングペンギン  
4月23日孵化、3年ぶりです。



ベニジュケイ 5月9日孵化



カルガモ、アカアシコガモ、オンドリ  
アカアシコガモ(真中上7月20日孵化)  
カルガモ(左端)

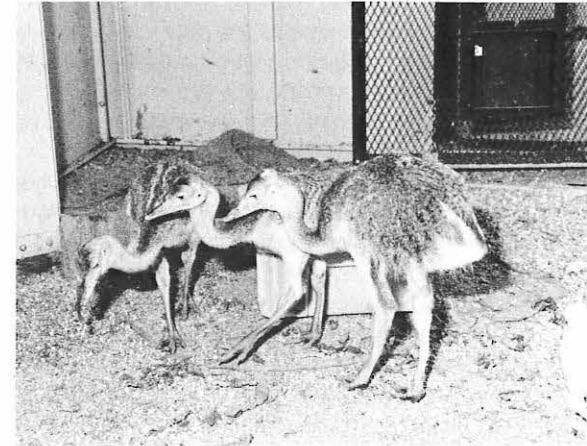


エミュー 3月25日、孵化

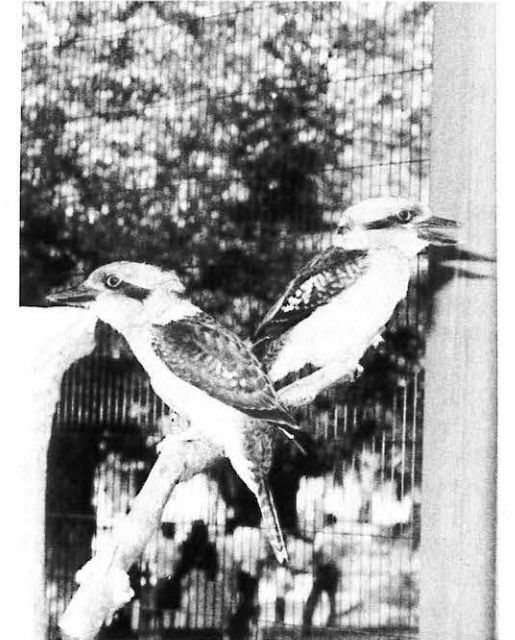
### 6・7月の動物園日記

- 6 / 6. 安全対策に関する飼育会議が行なわれました。
- 6 / 8. 釣針を誤ってのみこんだコアジサシを保護しました。
- 6 / 9. カリフォルニアアシカの子が1頭生まれました。写真コンクールの写真選考会がありました。
- 6 / 10. アカコンゴウインコ、レアが産卵しました。
- 6 / 11. ハシボソミズナギドリとゴイサギ各1羽を放鳥しました。

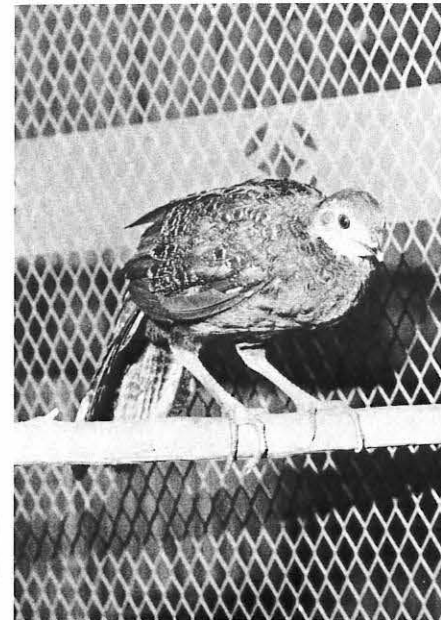
- 6 / 12. 当園生まれのショウガラゴを1頭、上野動物園へ寄贈しました。ベイサオリックスが左の角を折り起立不能となったため、さっそく治療をはじめました。
- 6 / 14. ボランティアサマースクール研修会が開催されました。
- 6 / 15. 咬傷で手術をうけたカリフォルニアアシカが治ったので、縫合部の糸を除去しました。
- 6 / 16. シベリアオオカミ4頭に2回目のワクチンを接種しました。
- 6 / 17. コクチョウ1番が旭山動物園から寄贈されました。



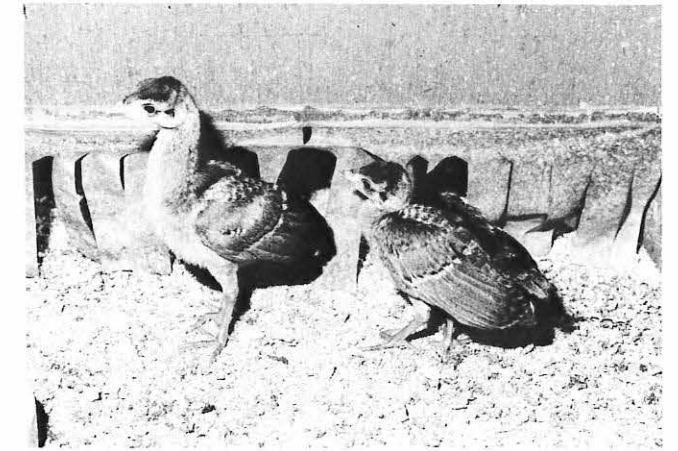
レア  
6月3、12、13日孵化。



フライカワセミ  
4月23日孵化。



ハイロコジャク  
5月20日孵化。



マクジャク  
6月19日孵化。

- ました。ヤブツカツクリの卵を26個、オスが作った塚より回収、検卵を行ないました。
- 6 / 18. オランウータンの“サツキ”がメスの子を1頭生まれました。
- 6 / 19. 今月10・11日に出生のカリフォルニアアシカの子の体重測定を行ないました。
- 6 / 21. 第26回動物のお話とスライドの会「動物の赤ちゃん」が開催されました。
- 6 / 22. 本年3頭目のカリフォルニアアシカの子が生まれました。
- 6 / 23. 先日生まれたオランウータンの子は、母親

- “サツキ”に抱かれて順調に育っています。
- 6 / 25. キーウィの体重測定を行ないました。
- 6 / 26. 近畿ブロック動物園技術者研究会が姫路セントラルパークで開催され、当園からは2名が出席、2題報告しました。
- 6 / 28. 本年4頭目のニホンジカの子が生まれました。
- 7 / 2. 定例飼育研究会を開催しました。
- 7 / 3. コバタンが産卵しました。
- 7 / 4. ヒョウの子が2頭生まれました。パンのヒナを2羽保護しました。キンカジュウが交尾しました。

田中 益五郎

§ 天王寺いきいきをめざして

いよいよ「天王寺博覧会」の開幕です。8月1日から11月8日までの100日間、天王寺公園一帯、約25ヘクタールの広大な敷地で、本年度のメイン・イベントが華やかにくり上げられます。

この地は、明治36年の第5回国内勸業博覧会の開催を機に、パリのエッフェル塔を模した通天閣、ユニアイランドをモデルにしたルナパークなどが出現し、新世界とよばれる大阪で一番ハイカラな繁華街として栄えてきました。大正4年には天王寺動物園が開園しその当時、和歌山や奈良の人たちが「大阪へ遊びに行った」と言えば天王寺界隈のことをさし、「動物園へ行く」と言えば天王寺動物園のことを意味した程でした。

しかし時代が移り、人の流れもキタやミナミに集まるようになると、天王寺は以前ほど人びとの注目を集めるどころではなくなりました。

しかし昭和68年に、関西国際空港が開港すると、この天王寺は大阪南の玄関口として脚光を浴び、文字どおり国際的な日本の玄関口にふさわしい場所にならざるを得なくなり、阿倍野、天王寺の再開発が急がれることとなります。

「天王寺博」は、その意味での活性化の前哨線としても、その開催に大きな期待がかけられています。それだけに内容的にも、新しい博覧会のあり方をふんだんに盛りこみ、ゲートを入っただけで、楽しい



マンモス

雰囲気にも包まれ、大阪流に言えば「値打のある」博覧会の実現をめざして力を集結しています。皆さんも一度はぜひ見に来てください。

§ いきものはみな仲間

「幸せって何だっけ」テレビでよく耳にした歌ですが、目覚しい技術先行時代にこそ、人として動物や植物のいのちの尊さを忘れては、真の幸せはあり得ないといわれます。

「天王寺博」の内容は、テーマ「いのちいきいき」に沿って、動物や植物など命あるものと人間とのかわりあいを見つめなおし、命の尊さや大切さを、肌で感じとっていただくというもので統一されています。

ます。中でも会場の重要部分を占める天王寺動物園では、たくさんの動物の生活する有様が、まのあたりに観察することができるのが何よりの強みで、まさに「いのちいきいき」のテーマが躍如としている博覧会といえます。

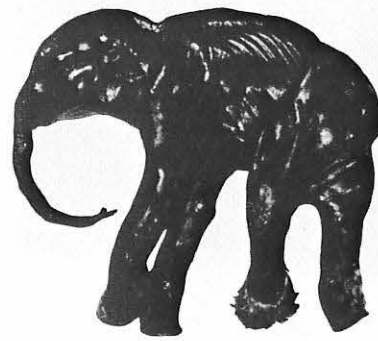
動物園はいうまでもありませんが、会場内至るところ総て「いのちいきいき」の内容で盛りあげられ、例えば美術館での中国文物展「金竜・金鳥と動物国宝展」では、殆どが動物に因んだものばかり150点を一堂に集めお目にかけます。

§ 大古の生きもの「マンモス」

この博覧会のもう一つの呼び物は、大古の生きもの「マンモス」の出現です。

ソビエト連邦のソ連科学アカデミー・レニングラード動物学研究所では、この天王寺博の主旨に賛同、珍しいマンモスの貴重な資料の国外貸出を了解され、今回の出展が実現しました。

展示やパビリオンは大小2つからなり、「マンモス館—氷河時代の動物たち」と、ソ連科学アカデミー・シベリア支部、歴史・文献・哲学研究所の協力による「シベリア文明展—北方に日本文化の起源をさぐる」の2館構成になっています。



赤ちゃんマンモス「ディーマ」

§ マンモスの卵？

天王寺ゲートに入ると、幾つものまっ白い大きな球型の建物が目をひきます。これはパビリオン群でその中でいちばん大きい館が「マンモス館」です。まっ白い大きな卵はマンモスの卵？みたいだと噂されているようです。その巨大なマンモス卵型パビリオンの中へ、さあ、ご案内しましょう。

§ マンモスは果たして巨大でしょうか

マンモスは、今から20万年まえ、氷河時代の第3番の氷期に、初めて地球上にその姿をあらわしています。いちばん栄えたのは今から5万年まえから1万年まえまで続いた第4氷期だったといわれています。

マンモスという言葉は、巨大な！という意味でマンモスタンカーなどと使われますが、本当はそんなに大きなものではなく、シベリアで発掘されたマンモスの骨から推測すると、アフリカ象の平均の大きさよりわずかに小さく、インド象とはほぼ同じ大きさの象であるといわれています。

今回、天王寺博に出展されるマンモスは、古生物学上、今世紀最大の発見の一つといわれる赤ちゃんマンモス「ディーマ」をはじめ、タイミールマンモスとアーキディスコドンの全身骨格、ベレゾフカのマンモスの復元レプリカ、そのほかマンモスの体の各部分などで、大阪市と姉妹都市レニングラード市の協力によって、皆さんに公開が可能となったものです。

§ 赤ちゃんマンモス「ディーマ」

1977年、東シベリアのオホーツク海に面したマガタン市の永久凍土層から発見されました。これはマンモスの赤ちゃんの完全な遺体で、体長110cm 体高104cm、今からおよそ39,000年まえ死亡したもので、生後約8カ月の赤ちゃんであろうと推定されます。

発見現場近くをディーマ川が流れていることから「ディーマちゃん」と名付けられました。

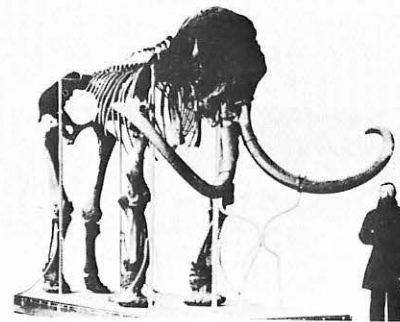
§ タイミールマンモスの全身骨格

1948年、中央シベリア最北の地、タイミール半島からマンモスの骨が発見されました。骨格は完全無欠のまま残っており、体長4.7m 体高2.6mの大きさです。

マンモスは今から約1万2千年まえに絶滅し、地球上からその姿を消したといわれますが、ちょうどその直前のものと思われるマンモスで、体高が2.6mとやや小型なのは、シベリアの酷寒に対応するべく体が小さくなったのではないかと考えられます。タイミールマンモスが日本で公開されるのは、これが初めてです。

§ アーキディスコドンの全身骨格

これこそマンモスの祖先、アーキディスコドンは、今から数10万年以前に出現し、南マンモスとも呼ばれています。これも全身骨格がほぼ完全な形でそろって、体長5m、体高4.2mで、ふつうのマンモスよりもやや大きな体をしています。日本で展示されるのはこれも初めてです。



タイミールマンモスの全身骨格

§ ベレゾフカのマンモス(レプリカ)

1900年、シベリア北東部ベレゾフカ川の近くで、ほぼ完全なマンモスの遺体が発見されました。発見時には、歯の間に草の食べかすが残っており、胃の

中には60種類(重さ12キロ)の植物が、未消化のまま残っていてマンモス研究の貴重な資料となりました。今回は発見状況そのままを現した復元レプリカで公開されます。

§ マンモスの体の部分あちこち

広大なシベリアの各地で発見されたマンモスの中から集められた足、頭骨、牙、臼歯、内臓、体毛、皮膚、鼻など体の各部分、合計35点が展示されています。

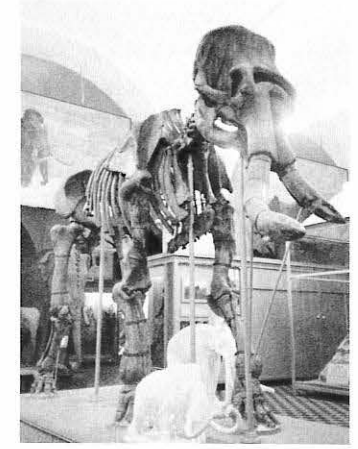
§ 氷河時代の動物(骨格、ミイラ)

シベリアのツンドラ、ステップ、タイガを再現し、その中にモウコノウマ、ジャコウウシ、サイガ、トナカイ、オオカミ、ホッキョクグツネ、アナグマ、マダラハイエナ、ビーバー、マーモット、シベリアレミング、ツル、シギ、コクガン、シロフクロウ、ヌマライチョウ、ツンドラシャコなど氷河時代に生きた動物たちの剥製標本が生態的に展示されています。

§ 永河時代の動物(剥製)

毛サイ、レナ馬、バイソン、洞窟グマ、ハイエナ、サイガ、ジャコウウシ、エラスモテリウス、オオツノシカなど、永河時代に生きた動物たちの骨格、頭骨、ミイラなどが展示されています。

§ マンモス時代の考古学コーナー



アーキディスコドンの全身骨格

旧石器時代、人間はマンモスや他の動物たちとどのように関わってきたかを知ることができる、考古学資料コーナーです。マンモスの牙や骨で作られたピナス像や冠やナイフ、

その他の動物の骨を利用した小型シャベル、短剣、矢じり、アクセサリー、石器釜などすべて考古学的に貴重な資料ばかりが、約60点展示されています。

§ マンモスの声も聞ける

マンモスが吠える！現代コンピュータ技術を駆使して一万年まえのマンモスの声を再現、会場のスピーカーから突如大きな奇声が響き驚かされます。

監修：長谷川善和(横浜大教授)

音響：前川 純一(神戸大教授)

音声合成：角所 収教授研究室(阪大)

協力：NTT テレホン アシスト(株)

(財)大阪21世紀協会・広報部

とにかく暑い国。神様のいる神秘で聖なる国。貧困な国。カレーしか食べない国。

インドというどごととこれ位の事しか思いつかない無知なる私が、去る5月23日から9日間インド旅行をする機会に恵まれました。

同行者は、私と同じく飼育係で象担当の小谷 信浩氏と猿アパート担当の原田 勉氏で、それぞれインド象やラングーン等の野生の姿を一目でいいから見ようと、私は単なる海外旅行気分です。二人について珍道中を繰り広げて来ましたが、今回は旅行中に訪ずれたデリー動物園とカーベル・ナショナルパークについて話をすすめていきましょう。



デリー動物園のゲート

● デリー動物園

ニューデリーの街から南東へ5kmの場所、ニューデリーの街はさほど大きくないため郊外といえるかもしれない。動物園のまわりには遊園地のような施設や屋外レストラン（屋台という方が適切だろうか？）や売店が建ち並び、オートリクシャー（オートバイを改造した2〜3人乗りのタクシー）が客待ちをし、月曜日にもかかわらず結構たくさんの方が集まっています。



園内から見えるブルーナ・キラー

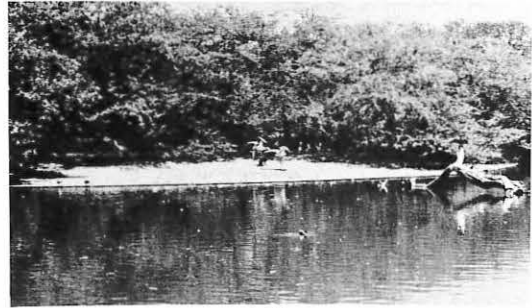
入場料の1ルピー（約14円）を払いゲートをくぐると左手にブルーナキラー（古い城）を見ながら一本道をインインと急ぎ足で進みました。

ニルガイ・サンバー・ブラックバック（アルピノ2頭）・エランド等がまわりを壕で囲んだ広い放飼場で各々展示されていました。飼料としてデントコーンのようなものを与えていました。

インドトキコウ・カワウ・オオハゲコウやサギ類などが大きな池の中島に展示され、営巣の様子なども見ることができました。



ブラックバック



鳥島

シシオザルもやはりまわりを壕で囲んだサル島に16頭ほどで群飼育されており、うらやましい限りでした。



シシオザル

展示動物は鳥類をはじめインド及びその周辺にいる動物が中心で、ホワイトタイガーやインドサイも見られましたが、動物舎そのものは金アミ越しに動物を見るという簡単な造りのものでした。



園内で飼料運搬をする牛車

園内はととても広く、車でまわることもできます。私達は歩いてまわったのですが、大まかにまわった

だけで3時間もかかってしまい、とても暑い（おそらく40℃前後）休憩所も少なく、最初の元気などどこかに消えてフラフラと何とか無事に出口にたどり着いたというのが実感でした。

● カーベル・ナショナルパークへ

ニューデリーから北東へ300km、車で約7時間の所にあるというカーベル・ナショナルパークに到着したのは午後1時でした。車の中は蒸し風呂のようで元気なのは運転手のおじさん一人だけ、私達三人はグッタリでした。

ここに、たどり着くまでのインドの風景を少しお話しますと、街のあちこちで牛・ヤギ・ブタがうろついていました。



水浴びをする牛

道路には荷物や人を満載したトラックやバスに混じって牛車やラクダ、そして驚いたのは象までが、荷物を背に乗せ走っていたことでした。

早朝に出発したため、インドの珍しい習慣も見ることができました。その一つが有名なガンジス河での沐浴であり、もう一つは屋外で朝の用(?)をたす、インドの方々の姿でした。



ガンジス河での沐浴

● カーベル・ナショナルパーク

カーベル国立公園は、カーベル・タイガー保護区の中にあります。面積は323.75km<sup>2</sup>で、片側を標高1210mのカンダという山に囲まれ、その山すそをラムガンガ湖を源に水量豊かなラムガンガ河が流れています。

季節は年間を3シーズンに分けることができます。11〜2月は冬で気温は4〜25℃、3〜6月は夏で気温も22〜44℃となり、7〜10月末までは雨季となり、平均して1550mmの雨が降るそうです。

国立公園内は、ゲートから車で1時間程の所にあ



カーベル国立公園ゲート

るロッジを拠点として、ジープや象に乗ってまわるというシステムになっています。じっくりと動物観察をしたい人は観察小屋で朝から夕方まで野生動物を観察することもできます。



ラムガンガ河とカンダ山を望む風景

ゲートからロッジまで林の中を通りぬけていきましたが、私が想像していたジャングルではなく林の中にも太陽の光が入って明るく風の通りもよく適度な乾燥感がありました。

道路わきを歩くアキシシジカやアカゲザルの群、車に驚ろいて後足で走り出すトカゲなどをウンザリするような暑さの中でボンヤリと眺め、ようやくロッジに着いた私達を出迎えてくれたのは、数匹の野ブタと目前に広がるラムガンガ河と大草原、そしてトラが棲んでいるというカンダ山という素晴らしい風景



野生の象の群

とその風景の中にすっかり溶け込んでいる野生の象の群。

私達はただ素直に感激したのでした。

(つづく)

(飼育課：早川 篤)

☆家で飼っているアカミミガメが卵を生みました。

うまく、フ化できるでしょうか。

豊中市 武本 麻弓

そのカメはどんな所で飼っていますか。もし砂ややわらかい土の中に産卵したのであれば、そのままの方がいいでしょう。そして、乾きすぎるとしたら時々散水してあげてください。約60日位でフ化します。土の上や水の中で産卵した場合は、卵をその時と同じ上下の位置のまま、砂などの中に5~10cm位の深さにうめてあげると、うまくいくと思います。

(回答：大野 尊信)

(イラスト：薮野 幸司)



☆クジャクの尾は他の鳥に比べて、どうしてあんなに変

変わった形をしていてきれいなのですか？ 城東区 小川 琢郎

クジャクが誇らし気に羽根を広げている姿は、とても美しく動物園でも大人気です。

でも注意深く観察すると、目玉模様の扇状に広がっている上尾筒といわれる羽の後に本当の尾羽があるのがわかると思います。この尾羽は他の鳥と同じような形のもので、尾羽のように見える上尾筒はディスプレイのための飾り羽根なのです。

梅雨が始まる頃になると、この飾り羽根も全部抜け落ちてしまうから本当の尾羽が見えやすくなると思いますよ

それから、よく夏場にクジャク舎の前で「早よ、羽根を広げろ。」と言ってる方を見かけますが、クジャクにしてみれば、「無い袖は振れぬ」ではなく、「無い羽根は広げられぬ」とでも言いたいようです。

(回答：早川 篤)

(イラスト：薮野 幸司)

☆ クジャクの主張 ☆



動物園ニュース

§ シュバシコウのふ化

毎年、順調に繁殖が成功しているシュバシコウは、今年も多数営巣し、5月始めからふ化が始まりました。しかし、ふ化直後に雨が降り多くのひなが死亡したため、今年は2巣で5羽のヒナが成育しただけでした。ヒナたちはまもなく巣立ちしますが、8月1日から公開されるバードケージ「鳥の楽園」へ移す予定です。

§ チリーシギダチョウのふ化

6月9日、チリーシギダチョウが人工ふ化し、順調に成育しています。4月にも2羽ふ化しましたが、いずれもふ化後数日で死亡しました。

チリーシギダチョウは、南アメリカに分布する地上性の鳥であるシギダチョウの仲間ですが、当園へは昨年11月と12月にオス、メス各1羽が来園しました。7月5日現在28卵産卵し、14卵はまだ、ふ卵器に入っていますので、今後が楽しみです。

チリーシギダチョウのふ化は、日本の動物園では初めてのことと思われるので、無事に成長してほしいものです。

§ アシカの赤ちゃん次々誕生

毎年繁殖しているカリフォルニアアシカが、今年も6月9日、11日、22日と相次いで3頭生まれました。その中で11日に生まれたオスの赤ちゃんの母親「ジュン」は一昨年12月に広島県の宮島水族館から来園したもので、推定17才とかなり高齢であったため、繁殖が可能かどうか心配しましたが、無事出産しました。宮島水族館へはこのメスと交換で、当園生まれのオスを送っていますので、こちらも繁殖に成功してほしいものです。



§ オランウータンの出産

6月8日午後5時すぎ、オランウータンの「サツキ」がメスの赤ちゃんを出産しました。「サツキ」にとって今回が3回目の出産です。初産のときは興奮し赤ちゃんを殺してしまい、昨年の2度目はお乳が出なかったため人工哺育しましたが、今回は自然

現在の飼育動物数

(1987年7月30日現在)

哺乳類	13目	104種	435点
鳥類	21目	183種	597点
爬虫類	3目	34種	70点
計	37目	321種	1,102点

哺育で育てています。しかし、哺乳が確認されたのは出産後60時間を経過してしまっていたので、ずいぶん心配させられました。その後は順調で、「サツキ」は初めての育児にもかかわらず大変じょうずに赤ちゃんを育てています。

一般公開は未定ですが、近いうちに親子のほほえましい姿をご覧いただけるでしょう。(3ページ写真参照)

§ オジロワシ来園

6月4日、東京都多摩動物公園からオジロワシのオスが来園しました。当園では1960年に来園したメス1羽のみを飼育していたので待望のオスの来園です。

来園したオスは、昨年多摩動物公園で自然ふ化したもので繁殖のために借り受けたものです。2羽の年齢差が大きいくま繁殖につながるか不安ですが、6日に同居させたとこ心配された闘争もありませんでした。

§ カメ類の来園

6月9日、姫路市立水族館のご厚意でカメ類が来園しました。来園したのはイシガメ5、クサガメ5、アカミミガメ10頭です。当園では特に日本産のカメ類が少なくなっていたため入手を希望していたもので



す。さっそくカメたちはは虫舎に収容されました。

◎ お知らせ

動物のお話とスライドの会  
8月16日(日) アシカとその仲間たち  
9月20日(日) ホッキョクグマのお話  
10月18日(日) 新しい「鳥の楽園」と小鳥たち  
時間：午後1時~2時  
於：北園レクチャールーム  
なお、天王寺博覧会の開催期間中の日曜祝日には動物映画会を開催します。

**\* 天王寺博覧会開催 \***  
8月1日から11月8日までの天王寺博覧会開催中動物園は休園致しません。なお、動物園部分の開園時間は9時30分から5時までです。入園料は大人2,000円、シルバー1,600円、中人1,200円、小人800円となっております。

# ゆとり満喫、信頼のカード。



ショッピングから海外旅行まで、  
1枚のカードでワイドにご利用いただけます。  
近鉄がDCおよびVISAと提携した便利な新カード。

## 近鉄グループカード (キップス) **KIPS**

◎国内・海外のDC加盟店すべてに通用。  
◎近鉄百貨店グループをはじめ、都ホテルチェーンなどでの  
ご利用にはいろいろな特典が。

**近鉄百貨店** お問合せとお申込みは 各店クレジットセンターへ  
●アベノ店7階●上本町店10階●東大阪店本館●奈良店4階●西京都店1階  
(京都ファミリー)

DEAR LIFE BOOKS



## 生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光 / 監修  
B5変型判・オールカラー  
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、  
自然の中ではどんな暮らしを  
しているのか？ 動物園での世話  
の仕方は？ 仲間？ など、  
写真と精密イラストをまじえ紹  
介します。

くらしとかいかたシリーズ<既刊本>

B5変型判・オールカラー・各定価580円

### むしくらしとかいかた

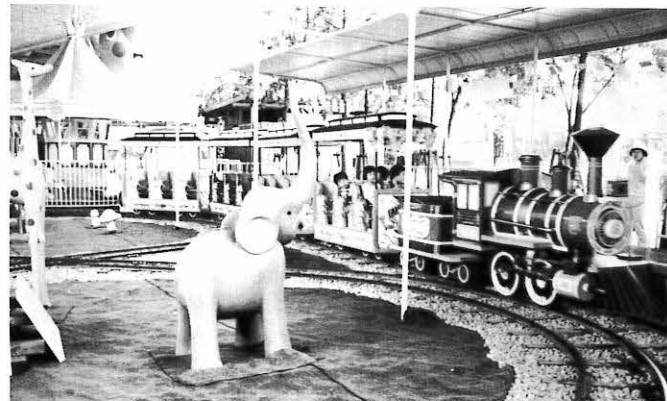
野山でみかける身近な昆虫たち  
250種を紹介。

### ちいさいきものくらしとかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320  
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 **ひかりのくに株式会社** 本社 / 〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

## たのしいのりもの、が待っています。



1人1回  
100円  
(1才まで無料)

団体割引  
(30人以上)  
……1割引

久竹娛樂株式会社  
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりもの、があります。

# いま、フィルムは 頭脳をもった。



高画質時代をリードする  
はるかに美しく

## フジカラー **SUPER HR**

**カメラの大林**

桜橋本店 ☎341-8091  
三番街店 ☎372-5031



- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」  
①巻・20分(10本常備)
- 対象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申込先/当協会まで、電話かハガキで  
お申し込み下さい。

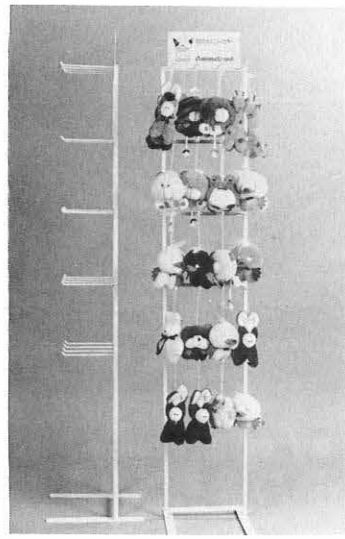
動物観察のしるしに

## 天王寺動物園 ガイドブック

のご購読をおすすめします。  
(1冊¥450)園内各売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

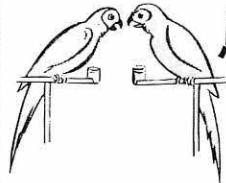


## 動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

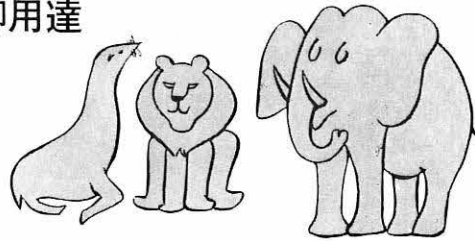
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号  
TEL: (06) 704-8580  
FAX: (06) 704-8565



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの) 要郵便券250円

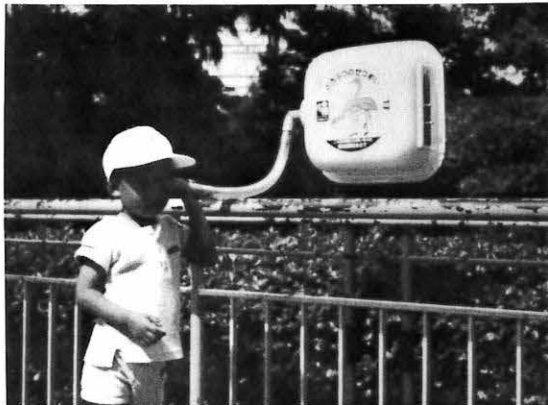


有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号  
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数カ所にあります

関西特機株式会社  
電話 06-762-2333  
1回 20円

## 動物園内での お食事、ご休憩は

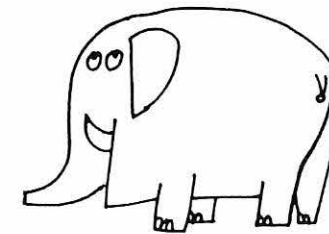
大阪市天王寺動物園内

## 中央売店

☎ (06) 771-0973



## 天王寺動物園内

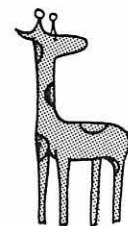


## 南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話 (06) 771-7110番

## 園内でのお写真は… 動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して  
おりますのでご説明  
に伺いました際は、  
よろしくお願い致し  
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。  
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社  
TEL 06-856-7444



もっとおいしく もっと元気に!.....雪印



果肉とソフトヨーグルト  
の名コンビ



# 雪印ヨーグルト 130g・250g

おなじみの果肉入りヨーグルト

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。

ホワイトを基調にしたシンプルなデザインで、ヨーグルトのさわやかさにもピッタリです。

野生動物をみんなで守ろう

# WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”が新設されました。このぬいぐるみの売上げの一部はWWFJ(世界野生生物基金日本委員会)に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー新設

お申込み、お問合わせは——

社団法人 大阪市天王寺動物園協会  
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 ファミリア商事部  
TEL (078) 321-0345

- お電話でのお申込みは動物園協会まで。  
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。



●WWF(WORLD WILDLIFE FUND)とは?  
世界野生生物基金。世界中の危機に瀕している動物たちと、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 昭和62年 8月10日発行 (毎月1回10日発行) 第23巻 第8号 (通巻264号)

編集 / 大阪市天王寺動物園

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員

(土井良彦 / 伊東重朗 / 藤野勝吉 / 樽本 勲 / 中川哲男 / 齊田 尚 / 宮下 実 / 長瀬健二郎) / 榎原安昭 / 森本委利 / 大野尊信 / 野口秀高 / 早川 篤 / 藪野幸司 / 堀 弘 / 大川光雄)

〒543 大阪市天王寺区茶白山町 6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823